

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	市民活動施設運営事業（美原区）			事業番号	217-012
担当部署名	美原区役所	局	-	部	企画総務課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	目標値	—	
			有	取組	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2 関連計画							
3 事業開始年度		平成 18 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4 実施根拠		堺市美原区区民プラザ管理運営要領					
事業の概要							
5 事業の実施主体		各区					
6 事業の対象		市民による自発的で公益性及び非営利性を有する活動を行い、又は行おうとする団体。(令和5年度登録団体数105団体)			対象数	単位	
					105	団体	
7 事業の目的		NPO法人や任意団体等への支援を通じて市内における市民活動の裾野を広げ、法人・組織としての力量の向上に寄与すると共に、全庁的に市民協働を進めることにより、真の市民自治を実現することを目的としている。					
8 事業内容		市民活動を行う団体が打ち合わせなどに利用できるミーティングスペース、印刷機・紙折り機等を備えた作業スペースを設置し、「活動を支援する場の提供」を行っている。					
※国・府の基準より上回って実施した内容							
9 主な支出先							
10 公民連携・協働事業							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
	区民プラザ 利用者数	人	目標値	350	350	525	525
			実績値	450	565		
			達成率	129%	161%		
当該指標を選定した理由	市民団体等が活動を行う場の提供として利用者数の増減を把握し、市民活動の支援に対する貢献度を確認することができるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍以降、利用者が増加したため、令和6年度実績を勘案し、令和6年度目標値の1.5倍に設定した。						
12	活動指標	単位	実績		目標		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	区民プラザ 利用登録団体数	団体	目標値	110	110	110	
			実績値	105	105		
			達成率	95%	95%		
当該指標を選定した理由	項目11と同様、利用登録団体の増加数を把握し、市民活動の支援に対する貢献度を確認することができるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年度目標値と同数						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	市民活動施設運営事業（美原区）	事業番号	217-012
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。

（単位：千円）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	0	0	100	43	87	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（資料等複写徴収金等）			20	13	20
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源			80	30	67	
14 人件費 (b)	1,570	1,590	2,505	1,630	1,740	
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	1,570	1,590	2,605	1,673	1,827	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R6	R7			
16 事業費内訳	通信運搬費	R6 決算	0	0		R6	決算		
		R7 予算	11	9		R7	予算		
	消耗品費	R6 決算	43	30		R6	決算		
		R7 予算	53	40		R7	予算		
	修繕料	R6 決算	0	0		R6	決算		
		R7 予算	23	18		R7	予算		
	R6 決算				R6	決算			
	R7 予算				R7	予算			
	R6 決算				R6	決算			
	R7 予算				R7	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		① 利用者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,590	1,673
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,533	2,961
算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、施設の利用や各登録団体の活動制限が解除されたため、利用者数が増加し、コロナ禍以前の水準には回復していないものの、目標値を達成することができた。また、利用者数が前年度より増加したことにより、単位当たりの経費を削減することができた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、施設の利用や各登録団体の活動制限が解除されたため、コロナ禍前には及ばないが、利用者数は増加している。市民活動のための打合せや資料作成の場を提供することで、地域住民のつながりの強化に寄与しており、今後も継続していく必要がある。
----	--